

徳島小松島港金磯地区岸壁(-11m)改良工事について

■ 工事内容

徳島小松島港金磯地区の岸壁は、昭和40年代に整備してから約50年が経過し、老朽化による荷役への支障がはじめたことから、老朽化対策の工事を行っています。老朽化の激しい鉄筋コンクリート床版を撤去し、土台となる鋼管杭を補強したのち、新しい床版に打ちかえます。現在実施している工事は、平成30年3月までの予定です。

- ➡ 老朽化した床版は、カッターで切断してから撤去します。

※床版とは…港湾貨物の運搬車両や原木などの荷重を直接受ける部材のこと。



- ➡ 新しい床版の鉄筋を組立てます。床版の厚さは約40cmです。



徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤築造等工事について

■ 工事内容

徳島小松島港沖洲(外)地区の静穏度を確保するために防波堤を延伸しています。既設の防波堤の一部を撤去して地盤を改良したのち、石材を投入して防波堤の土台となる基礎を造ります。現在実施している工事は、平成30年8月までの予定です。(なるほどみなと講座参照)

- ➡ 防波堤を支える海底地盤をSCP船で改良することで堅く強い地盤にします。



- ➡ 既設防波堤の消波ブロックを起重機船で撤去します。



※静穏度とは…港湾内における船舶が安全に操船、停泊、係留及び荷役ができるよう波を穏やかにする度合いのこと。